

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/歴史】

長崎からみたクリシタンの世紀 100年を
詳細にとらえた本です

FAX: 092-726-9886

絹と十字架

【4月下旬刊】
最後の南蛮通詞
(ポルトガル通詞)
西吉兵衛と、
最後のポルトガル
特使ソウザを
知っていますか？

長崎開港から鎖国まで

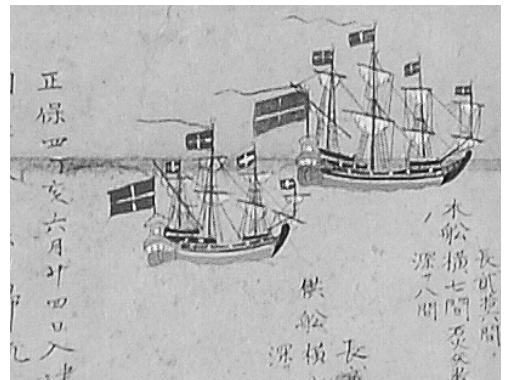
松尾龍之介

四六判・320頁 2200円+税

◆長崎開港・長崎町建て開始から450年◆

1571年、長崎開港がもたらした、
西洋とのファーストコンタクトから鎖国への道の
1世紀をたどる。

ポルトガル人来航禁止令(1639)が出されたあと、
1647年(正保4年)、最後の特使がやってくる。
最後の南蛮通詞にして最初のオランダ通詞＝西吉兵衛は、
この最後のポルトガル特使ソウザと何を語ったのか。



「正保四年(1647)長崎警備の図」から
ポルトガル船(鍋島報効会蔵)

《目次から》

- I イエズス会と長崎 長崎開港／イエズス会領長崎／巡察使ヴァリニャーノ／フィリピンからの宣教師／朱印船貿易／英・蘭の台頭／デウス号事件／徳川家康の禁教令
- II 禁教と迫害の嵐 平戸イギリス商館／元和の大殉教／長崎奉行水野守信／踏み絵／長崎代官末次平蔵茂貞
- III 国を鎖す 出島の完成／天草島原一揆／「鎖国」の完成／オランダ商館の取り壊し
- IV ポルトガル特使ソウザ 最初の出島貿易／ポルトガル特使ソウザ／インド副王の援助／肥後藩家老長岡監物／ソウザの夢／船橋の完成／幕府からの回答／二代目西吉兵衛(西玄甫)

〈著者の横顔〉 松尾龍之介 (まつお・りゅうのすけ)

昭和21年、長崎市生まれ。洋学史研究会会員。[主な著書]『マンガNHKためしてガッテンーわが家の常識・非常識』(青春出版社)『長崎蘭学の巨人一志筑忠雄とその時代』『小笠原諸島をめぐる世界史』『鎖国の地球儀ー江戸の〈世界〉ものしり帖』『踏み絵とガリバーー鎖国日本をめぐるオランダとイギリス』(以上、弦書房) ブログ「松尾龍之介の長崎日和」

[FAX: 092-726-9886]

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合	冊	松尾龍之介の本	絹と十字架 長崎開港から鎖国まで 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-226-0
	冊		鎖国の地球儀 江戸の世界ものしり帖 定価 2300円+税 ISBN 978-4-86329-153-9
	冊		小笠原諸島をめぐる世界史 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-100-3
	冊		踏み絵とガリバー 定価 1900円+税 鎖国日本をめぐるオランダとイギリス ISBN 978-4-86329-181-2
ご担当者様	様 [/]	弦書房 Genshobo	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com